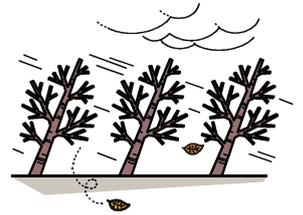




・・・「一月は行く 二月は逃げる 三月は去る」・・・

あっという間に1月が過ぎ、はや2月です。本格的な寒さを迎えました。そして2月3日は「節分」、季節の節目を迎え、「立春」となります。旧暦の1年の始まりに当たる日であり、厳しい冬を乗り越えて春を迎えることから、「立春」は特にめでたい日とされています。「立春」の前日にあたる「節分」は今でいう大晦日をさすようです。大晦日に一年の邪気や悪いものをはらい、清めた状態で新しい1年を迎えるための儀式として行われるようになったのが、豆まきなどの「節分」の行事です。「鬼は外、福は内」の豆まきの由来を知り、豆まきをして豆を食べたり、イワシを食べたりできるといいなと思います。



1月下旬から発熱や風邪症状のお子様が増えてきています。朝の健康観察を行い、防寒対策をして登校させていただきますようお願いいたします。子どもたちにとっては、卒業や学年末へ向けての大切な日々となります。元気に教育活動を進めることができますよう、保護者の皆様には、引き続きご協力をお願いいたします。

・・・新年の決意発表会・・・

1月16日に、全校児童の新年の決意発表会をZOOMで行いました。5・6年生は多目的室から発表しました。冬休みにそれぞれが考えた決意を自信を持って発表できました。「一年の計は元旦にあり」と言われます。この気持ちを忘れずに1年間目標達成に向けて、努力を続けてほしいと思います。



・・・「生命の安全教育」出前授業・・・



1月19日に「NPO法人えんばわめんと堺」代表の北野真由美先生をお迎えして、4、5、6年生にSAY（性と生）の出前授業をしていただきました。「生命の安全教育」への取組も三年目となり、子どもたちは前年度学習した内容の確認と学年に応じた内容をプラスして知識の上書きを図っています。この日は、参観日ということで、保護者の皆様にも学校での取組を見ていただき、家庭における会話や指導すべきことなどについて考えていただく機会となりました。

6年生は、子どもたちの質問に答える内容から始まり、「体」「人間関係」についてわかりやすく話してくださいました。「わたしはわたし」というフレーズも繰り返しありました。昨年度まで学習してきたことのまとめのような内容で、子どもたちもうなずきながら確認していました。

4・5年生は、思春期に向けて変わる体や心についての話から自分も相手も大切にしたい気持ちについて学びました。授業後の「学校保健委員会」では、「子どももおとなも自分らしく生きるためにたいせつなこと」と題して、保護者の皆様に、性的マイノリティや子どもたちの性の発達、こころとからだの境界線などについて話していただきました。これらの学習を通して、発達段階に応じた正しい知識を身につけて、自分の体も心も大切にしていける姿勢を定着させることが重要であると考えています。子どもたちも興味本位だけでなく、体の仕組みを知り、命につながる尊さを感じてくれていました。たくさんの保護者の皆様も残ってください、親としての子どもへの接し方についても学ぶことができました。ありがとうございました。



・・・防災避難訓練・・・

1月17日には、29年前におこった阪神・淡路大震災について、防災主任から子どもたちに話をし、いま私たちにできることについて考える機会をつくりました。その際に、段ボールの簡易トイレについても各学年で説明をしました。2月2日には、大野幼稚園児とともに、防災避難訓練をする予定です。家庭においても、いざというときの防災グッズの準備や、家族との連絡の取り方、逃げる場所などについて、お子様の安心のために話をしておいていただくと幸いです。

